



チックシベツ

教育目標
たくましい身体の子
ねばり強く働く子ども
進んで学ぶ子ども
美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 10月号② (平成28年10月21日) 【発行責任者 成田将人】

朝、暑寒別岳が真っ白になっている日が増えてきています。

北海道は秋が短いですね。〇〇の秋・・・満喫したいものです。



秋の夜長に読む本は・・・それぞれの秋

先日、秩父別のマラソン大会が行われました。秩父別小学校の子供たちは、休み時間にみんなで遊ぶことが多いです。朝や帰りも、鬼ごっこやかくれんぼで走りまわる姿をよく目にします。校舎内では、まだまだ半袖で過ごす子が多いです。

10月25日、給食で「緑のナポリタン」をいただきます。町の自慢のメニューをみんなで食べることができます。楽しみです。

11月4日には、「北空知主張大会」が秩父別小学校で行われます。6年生の横山さんは、大会に向けて特訓中です。

現在は、TV やスマホの利用度が高く、「夜に何をして過ごそうか」と、悩むことはほとんどないのかもしれませんが。

秋の夜長に読書、たまには電子機器から離れて、ゆっくり過ごすのもいいものです。

私は、子供からすすめられた「星の王子さま」を読んで、感動しました。子供と同じ本を読んで感想を語り合うのも素敵な時間になると思います。



朝、校門にて・・・

落ち葉が歩道を敷きつめる季節となってきました。公務補の植田さんが、朝早くから校舎前を竹ぼうきできれいにしてくれています。私もせめて子供たちが通る校門前はきれいにしておこうと葉っぱを拾い始めました。きれいにして自己満足。

ところが、子供と話した後、ふと道路に目をやるとまた葉っぱがちらほら・・・。「こんな短時間に散るわけではない。」「どうしたことだ。」と思って見ていると、トラックが通った後、道路の落ち葉を歩道に吹き飛ばしていたのでした・・・。

「落ち葉の季節は落ち葉を踏みしめて歩くのが一番。」と自分に言い聞かせて葉っぱ拾いをやめにしました。

コラム (小学校時報10月号から)

高知県の小学校は、50歳以上の教員が51%もいるそうです。

大量退職の時代に入り、「北海道の教員も高齢化?している。」と感じていましたが、高知県ほどではなさそうです。

さらに北海道では、地域によって、20～30代が多い地域と40～50代の先生が多い地域に分かれています。空知は、どちらかと言えば、後者のようです。

どちらの傾向も一長一短あり、組織としてはバランスの取れた年齢構成が求められています。

(秩父別小学校は、バランスが取れた構成だと思っています。)

9・10月の秩小の子！

 <p><u>9/23 参観日</u> 4年生は親子レクでおいしいカレー作り。</p>	 <p><u>9/26 後期清掃班結成</u> 後期清掃班を結成し、早速活動を開始しました。</p>	 <p><u>9/27 全校合唱練習</u> 歌はもちろん並び方の練習も行いました。</p>	 <p><u>9/28 児童総会①</u> 新しい委員長が後期の取組を提案しました。</p>
 <p><u>9/28 児童総会②</u> 質問・意見が、活発に出された児童総会でした。</p>	 <p><u>10/3 全校朝会で任命式</u> 選挙や話し合いで決定した新しい役員が任命されました。</p>	 <p><u>10/5 児童公開日</u> 1回目の本番です。ちょっと失敗もありましたが・・・。</p>	 <p><u>10/8 地域公開日</u> 2回目の本番。たくさんの拍手ありがとうございました。</p>
 <p><u>10/12 空知教育局長来校</u> 小山教育局長さんが、授業参観されました。</p>	 <p><u>10/13 ドイツから来校</u> 町の国際交流でドイツから、アンナ・ユリア・ボックさん</p>	 <p><u>10/14 クラブでSケン</u> 反省後、調理や運動をして今年最後のクラブを楽しみました。</p>	 <p><u>10/14 教育長来校</u> 西田教育長さんが、4年生の英語を参観されました。</p>

今年度の学力・学習状況調査から！～復習・根拠・理由付け・条件に合わせて～

春に行われました全国学力・学習状況調査（6年生）の結果をご報告します。国語A・B及び算数A・Bで全道・全国平均を下回る結果となりました。（Aは知識・Bは活用を問う問題です。）

国語Aでは、特に3年生で学習した「ローマ字を書く・読む」、国語Bでは、「条件に合わせて書く」問題が難しかったようです。算数Aでは、「不等号」や「前後の人数から全体の人数を答える」問題では、全国平均を上回りましたが、「割合など」の問題が特に難しかったようです。算数Bでは、特に「計算の説明や理由を書いたり、選択したりする」問題が難しかったようです。

学習習慣の面では、家庭で復習（宿題）を中心に学習をする割合は非常に高く、2時間以上学習する児童も増えています。反面、計画を立てて学習（予習を含む）したり、読書をしたりする割合は低くなっています。

生活習慣の面では、現在の北海道の子どもたちの特徴にも見られている、1日の中でゲームをしたり、テレビを見たりする時間が長い児童の割合も多いことが分かりました。

こうした状況を踏まえ、国語科では、「下学年で身に付けた基礎・基本をもとに、分かったことや疑問に思ったことなどの要点や立場を明確にした考えをまとめて記述すること」、算数科では、「個への対応を中心とした授業をもとに、考えたことを算数の用語を使って説明する活動を更に充実させていく重要性」を再確認しました。また、今後も朝読書や朝自習、宿題等を通して、子どもたちに力を付けていけるよう全力で取り組みます。

特に保護者の皆様におかれましては、子どもたちの学力をしっかりと支える学習習慣の確立にご協力の程、宜しくお願いいたします。